

# 予算決算委員会（全体会）記録

[後期全体会]

1 日 時 令和4年12月16日（金曜日）

開 会 午後 1時07分

閉 会 午後 1時14分

2 場 所 議 場

3 出席委員 35人

委員長 高 田 重 信

副委員長 松 井 桂 将

委 員 金 岡 貴 裕

// 藤 田 克 樹

// 柏 佳 枝

// 飯 山 勝 彦

// 織 田 伸 一

// 澤 田 和 秀

// 高 原 讓

// 田 辺 裕 三

// 豊 岡 達 郎

// 吉 田 修

// 久 保 大 憲

// 松 井 邦 人

// 金 谷 幸 則

// 泉 英 之

// 岡 部 享

委 員	舍 川 智 也
//	押 田 大 祐
//	江 西 照 康
//	高 田 真 里
//	高 道 秋 彦
//	東 篤
//	大 島 満
//	谷 口 寿 一
//	成 田 光 雄
//	松 尾 茂
//	尾 上 一 彦
//	橋 本 雅 雄
//	横 野 昭
//	村 石 篤
//	佐 藤 則 寿
//	金 厚 有 豊
//	赤 星 ゆかり
//	柞 山 数 男

4 欠席委員 0人

5 地方自治法第105条の規定により出席した者

議 長 鋪 田 博 紀

## 6 職務のために出席した者

### 【議会事務局】

議事調査課長	坂口 輝之
議事調査課長代理	中山 崇
議事調査課議事係長	酒井 優
議事調査課主査	中村 千里
議事調査課主任	木戸 雅人

## 7 会議の概要

委員長           ただいまから、予算決算委員会を開きます。  
本日の審査日程は、お手元に配付のとおりであります。  
これより、各分科会長の報告を求めます。  
まず、松井総務文教分科会長。

総務文教分科会長   総務文教分科会での審査につきまして御報告いたします。  
当分科会では、送付されました予算案件3件の審査を行いました。  
以下、審査の概要を申し上げます。  
議案第127号中、議会事務局所管分の人件費補正について、次のような意見の表明がありました。  
令和4年12月に支給される議員の期末手当の支給月数を0.05月分引き上げることは、議会として辞退すべきと考えている。  
コロナ禍や物価高騰により、市民生活はますます大変になっている。今後も、電気料金の大幅な値上げなどが見込まれる中で、給料が上がらず、また、少ない年金で暮らしておられる市民の皆さんには、議員の期末手当の引上げは理解されないと考えるという観点からの反対意見がありました。

以上、総務文教分科会の分科会長報告といたします。

委員長 ただいまの分科会長報告に対する質疑に入ります。  
質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長 質疑なしと認めます。  
次に、久保厚生分科会長。

厚生分科会長 厚生分科会での審査につきまして御報告いたします。  
当分科会では、送付されました予算案件6件の審査を行いました。  
以下、審査の概要を申し上げます。  
議案第127号中、こども家庭部所管分の医療的ケア児保育支援事業費について申し上げます。  
委員から、私立の保育施設における医療的ケア児の受入れについては、市から施設に対してアプローチをかけたのか、それとも、公募に対して施設から申し出があったのかとの質問がありました。  
これに対し、当局から、受入れを開始した当

初は、保育施設に対して個別にお願いすることもありましたが、今年度については公募によるものであり、本年10月から新たに1名を受け入れていただいているところですのでとの答弁がありました。

これを受けて、委員から、細心の注意を払って保育をしていかなければならないため、これからも受入れ施設としっかりと連携を取り、要件を確認しながら、安全に保育ができるように進めてほしいとの要望がありました。

なお、全ての案件について意見の表明はありませんでした。

以上、厚生分科会の分科会長報告といたします。

委員長 ただいまの分科会長報告に対する質疑に入ります。  
質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長 質疑なしと認めます。  
次に、泉経済環境分科会長。

経済環境分科会長 経済環境分科会での審査につきまして御報告いたします。

当分科会では、送付されました予算案件6件の審査を行いました。

以下、審査の概要を申し上げます。

議案第127号中、商工労働部所管分の中小企業育成事業費について申し上げます。

委員から、市内の貨物自動車運送事業者の負担を軽減するための支援金について、トラック協会等に所属している事業者には支援金の案内が届くと思うが、個人事業者にも確実に案内が届くのかとの質問がありました。

これに対し、当局から、事業者の約8割強が加入している富山県トラック協会からは、100%の申請を目指し、会員への案内や申請の中継ぎなどに御協力いただけると伺っております。また、個人事業者は大手の運送会社の下請けをしている場合も多いため、営業所等へのパンフレットの配置や事業の周知など、大手の運送会社の御協力を得ながら進めていくこととしておりますとの答弁がありました。これを受けて、委員から、市が個人事業者を把握しているのであれば、プッシュ型の案内などは考えられないのかとの質問がありました。

これに対し、当局から、個人事業者の情報は把握していますので、プッシュ型の案内を行いたいと考えておりますとの答弁がありまし

た。

なお、全ての案件について意見の表明はありませんでした。

以上、経済環境分科会の分科会長報告といたします。

委員長 ただいまの分科会長報告に対する質疑に入ります。  
質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長 質疑なしと認めます。  
次に、金谷建設分科会長。

建設分科会長 建設分科会での審査につきまして御報告いたします。  
当分科会では、送付されました予算案件3件の審査を行いました。  
以下、審査の概要を申し上げます。  
議案第137号について申し上げます。  
委員から、奥田賃貸店舗の立ち退きに伴う移転補償費として、2億5,000万円を補正しているが、各店舗の移転補償費を個別に算定して、既に各店舗に伝えているのかとの質問がありました。

これに対し、当局から、概ね17事業者に対し、算定業務の結果として、個別の算定額を伝えておりますとの答弁がありました。

また、委員から、奥田賃貸店舗の立ち退きに関する今後の進め方について、何か見通しはあるのかとの質問がありました。

これに対し当局から、移転補償費の金額については内諾を得られた店舗もございますので、補正予算が議決された場合には、立ち退き期限のめどである令和5年3月に向けて、本格的な交渉に入りたいと考えておりますとの答弁がありました。

なお、全ての案件について意見の表明はありませんでした。

以上、建設分科会の分科会長報告といたします。

委員長

ただいまの分科会長報告に対する質疑に入ります。

質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長

質疑なしと認めます。

以上で、質疑は終結いたしました。

これより議案第127号を起立により採決い

たします。

本案件は原案のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

委員長 起立多数であります。

よって、本案件は原案可決されました。

次に、議案第128号から議案第139号まで、及び議案第157号、以上13件を一括して採決いたします。

各案件は、原案のとおり決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長 御異議なしと認めます。

よって、各案件は原案可決されました。

これで、12月定例会の当委員会に付託されました全議案の審査は終了いたしました。

委員各位に御相談申し上げます。

委員長報告については、正・副委員長に御一任願いたいと思いますが、いかがでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長

それでは、そのように取り計らいます。

これをもって、令和4年12月定例会の予算  
決算委員会を閉会いたします。

令和4年12月定例会  
予算決算委員会（全体会）記録署名

委員長 高田重信

署名委員 豊岡達郎

署名委員 吉田修